

第 1449 号 令和5年度 No.10 9/1金 洋野町立種市小学校 ☎0194-65-2128 児童数 216名

陸上に懸命に取り組んでいます。 自分との闘いは苦しいですが、この 挑戦は尊く、意味ある学習です ❖

発想力豊か!力作多数の夏休み作品展

長い夏休みに一人一人がじっくり考え、思い思いの作品作りに取り組みました。それぞれの作品からは、充実した時間を過ごしたことが伝わってきます。互いにマナーを守って作品を鑑賞し合う姿もほほえましい種小っ子です。たくさんの知的刺激や気づきが、今後の学びに活かされることを期待します。力作揃いの夏休み作品展は参観日の9月5日(火)までです。保護者の皆さま、ぜひご覧ください。※9/7 (木)~18 (月) は町内各校児童生徒作品がセシリアホールに展示されます。





左:町内の津波記念碑めぐりをまとめた レポート 右上:飲料に含まれる砂糖の 量を見える化 右下:砂の波に工夫あり

青少年交流感想、児童朝会で発表

7月下旬から金武町との青少年交流が実施され、本校代表の2名も充実した 交流体験をしてきました。現地に出向いたことで実感した思いなど、貴重な経験 で得られた感想を8/29(火)の児童朝会で発表しました。

『交流事業に参加して』 6年 十文字 惺

僕が「沖縄に行きたい!」と思った理由は、洋野町との自然の違いや沖縄の歴史を知りたいと思ったからです。

事前学習では、ナニャドヤラの踊りの手と足の動きに苦戦しましたが、今では口ずさんでしまうほど、体にしみつきました。沖縄に行き披露したら、みんながリズムに乗って楽しんでくれて、うれしかったです。その時、仲良くなったお友だちとお話をして感じたことは、言葉のイントネーションの違いです。聞きとることはできたけれど、とても難しかったです。クイズをしてくれて、難読地名が多いことにも驚きました。例えば、城と書いて「ぐすく」や山原と書いて「やんばる」と読むことです。また、町を歩いていたら「めんそーれ」といわれてどういう意味だろうかと最初は思いましたが、「ようこそ」ということだとわかり、かんげいされていることに嬉しくなりました。

四日目に行った、ひめゆりの塔、ひめゆり平和資料館を見学して、戦争の恐ろしさを実際に見て感じることができました。壁にかけられた写真と名前を見て、言葉にできない、胸が苦しいとは、こういうことだと分かりました。僕と同じくらいの人達を見て、僕ができることは何なのかこれから考えていきたいと思いました。今までは、写真や映像などしか見たことがなかったので、実際に見て触れて、とても貴重な体験をして、戦争の恐ろしさを感じることができました。

青少年交流に参加したメンバーと、事前研修の時は緊張して仲良くなれるか心配だったけれど、夜、みんなでトランプしたり、たくさんお話したりして仲良くなることができました。 冬の研修で沖縄から交流団員が来た時には、温かく迎え、洋野町のことについてたくさん紹介して、好きになってほしいです。

洋野町との文化の違いや戦争の恐ろしさ、家族と離れて思った気持ちなど、とても多くのことを学ぶことができたので、それを今後の生活に活かしていきたいと思います。参加させていただき、ありがとうございました。



大陽の下で大手を振うてきたい水が飲みたい水、水が飲みたい水、水。
お母さん、お母さん。
学友の声が聞いてます
私たらは
教者に
対場へ出て行きました
戦争は
戦争は
れたらは
人公とりの体験をからしまれたらは
人公とりの体験をからしまれたられ
人公とりの体験をからしまれたられるたらは

『沖縄で学習したこと』 6年 伊藤 凛

私が沖縄に行きたいと思った理由は、洋野町では体験できないことを沖縄に行って体験してきたいと思ったからです。沖縄に行くと決まった時は、洋野町の代表として沖縄に行って学んだことを伝えたいという気持ちでこの研修に臨みました。

初日は歓迎交流会で、今までの事前研修にたくさん練習してきた「ナニャドヤラ」を披露しました。練習の成果が出てきれいに踊ることができました。最後には大きな拍手がもらえてうれしかったです。席についたら金武町の人たちと話せてよかったです。

二日目は初めに金武町役場に行きました。そこでは、なぜ沖縄の海がきれいなのかや、タコライスができるまでの歴史を学ぶことができました。洋野町のウニや大野木工がなぜ有名になったのか私は知らなかったので、今後調べてみたいです。KiN サンライズビーチでは楽しく泳げたし、金武町の友達もできてよかったです。ぞうりアートでは片方しか作れなかったけど、思い出に残る物ができました。

四日目は初めに摩文仁の丘に行きました。岩手の塔は手の形と岩手県の形をしていることがわかりました。次はひめゆりの塔に行きました。第二次世界大戦でひなんしていた人やそこでの生活を見て、辛い生活を送っていたことにショックを受けました。五日目は初めに首里城に行って見学をしました。門をくぐったら倉庫に首里城の絵がかいてありました。本当は実物が見たかったのですが、絵でもきれいで感動しました。

この4泊5日を通して学んだことは、沖縄の戦争の恐ろしさや食べ物のおいしさ、海のきれいさです。今回の体験を生かして、来年来る金武町の人たちに学校の授業や洋野町のよさを伝えたいです。